

欧州連合知的財産庁（EUIPO）、戦略計画2030に関する意見募集を開始

2023 年 12 月 13 日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州連合知的財産庁（EUIPO）は、2023 年 12 月 4 日、戦略計画 2030 の策定に向けて意見募集を開始した旨、ニュースリリースにて公表した。

本ニュースリリース及び意見募集の概要は以下のとおり。

1. 概要

- ・ 戦略計画 2030 は、EUIPO および欧州連合知的財産ネットワーク（EUIPN）が今後 5 年間に進むべき道筋を示す枠組みを確立するもので、今後の課題を特定し、これらの課題に効果的に対処するための主な戦略目標とイニシアチブを定義するもの。
- ・ 戦略の中核にあるのは、EU 加盟国の国内および地域の知的財産庁と連携して、特に中小企業に焦点を当てながら、一般市民や企業に価値の高い知的財産サービスを提供し、欧州におけるイノベーション、競争力、経済成長を促進することを目的とした、知的財産ハブになるという EUIPO のビジョンである。

2. 戦略計画 2030 における 5 つの目標と質問について

（1）長期的に持続可能な卓越性に向けた業務効率と有効性の最適化

機動的な職員政策の実施、最先端技術の活用、近代的な職場環境の整備、業務プロセスの改善及び将来的な計画能力の向上により、業務効率と効果を最適化し、EUIPO の財政的・管理的自立性と全体的な持続可能性を確保する。

（質問 1）新技術（ブロックチェーン、AI（生成系 AI も含む）、量子コンピュータ、メタバース）をどのような目的で活用すべきか。考慮すべき危険性や欠点はあるか。

（質問 2）長期的な財政持続可能性の確保のために何をすべきか（例えば、計画・予測の改善、新たな収入源の開拓、業務合理化等）。

（質問 3）今後 5 年間に予想される退職者の増加、新たな業務（地理的表示の業務等）の割当て動向を踏まえてどのように職員の確保できるか。

（質問 4）コミュニケーション、生産性の向上、職員のエンゲージメントと満足度を向上させるため、職場環境をどのように改善できるか。

（2）品質、一貫性、法的確実性の拡大による、知的財産製品およびサービスの価値向上

組織全体に真の品質文化を導入するため、業務の品質、法的確実性、予測可能性、透明性、説明責任を拡大することにより、知的財産製品およびサービスの価値を高める。

(質問 5) 品質、適時性、透明性等を向上させるために既存の枠組みで実施できる最も重要な改善点はなにか。

(質問 6) どの分野においてプロダクトとサービスの質を向上させるべきか。

(3) 知的財産制度へのアクセスを改善し、イノベーション主導型の経済成長を支える知的財産権の利用促進

顧客体験を向上させ、次世代のイノベーターの活躍を支援し、革新的な製品とサービスを創出し、イノベーション、価値創造、インクルージョンを促進し、成長と持続可能な発展のためのツールとしての知的財産を強化することにより、イノベーション主導の経済成長を支援するために、知的財産制度へのアクセスを改善し、知的財産権の利用を促進する。

(質問 7) 中小企業にとって知的財産制度を利用しやすく、有用にするためにはどうすればよいか。

(質問 8) 知的財産制度をより使いやすくするために、他にどのような変更を行うべきか。

(質問 9) 知的財産制度をより包括的なものにするため、例えば、出願人や専門家の性別や地理的なバランスを改善する行動をとるべきか。

(質問 10) スタートアップや中小企業が知的財産を活用するのをどのように支援できるか (例えば、知的財産による融資や、ライセンス供与等による収益化等)。

(4) 教育を推進し、認識を高め、利害関係者の関与を深めることにより、知的財産に対する信頼と尊重の構築

教育、意識向上、利害関係者の関与の強化、エンフォースメントの改善を推進することにより、知的財産に対する信頼と尊重を構築する。

(質問 11) 知的財産の主要分野について、どのような証拠に基づく新たな調査を実施すべきか (例えば、著作権侵害、知的財産と気候変動、多様性等)。

(質問 12) 知的財産の影響と価値について、消費者、特に若者の認識を高めるためにどのように働きかけるのが最も効果的か (例えば、ソーシャルメディア、教育機関、イベント等)。

(質問 13) 知的財産権の最良の権利行使を確保するため、権利行使コミュニティや民間部門にどのような支援を提供すべきか。

(5) EUIPN を真の共同体へと格上げして、EUIPN の長期的な持続可能性の確保

真のコミュニティとなり、各国の知的財産庁、EU 機関、国際機関、ユーザー団体との知的財産同盟の創設に貢献することにより、EUIPN の長期的な持続可能性を確保し、知的財産とイノベーションのエコシステムを結集して、相乗効果をよりよく追求し、努力の重

複を避け、ユーザーの利益のために協力の成果を最大化する。

(質問 14) EUIPO が EU 内外の各国・地域の知的財産庁と既に行っている協力について、どの分野でどのように強化されるべきか(例えば、業務の共有、IT の共有、職員の交流等)。

(質問 15) 既存のどのパートナーと、どの分野でどのような目的で協力を強化すべきか。追加の協力パートナーを探すべきか。

3. 意見募集について

- ・ 意見募集の締切りは 2023 年 2 月 16 日となっており、[オンライン](#)で提出可能。
- ・ 戦略計画 2030 は 2025 年 1 月 1 日に開始予定。戦略計画に向け、内部及び外部関係者に対する広範な意見募集を、2024 年 2 月中旬まで実施する。その後、2024 年 11 月に開催される管理理事会・予算委員会 (MBBC : Management Board and Budget Committee) 合同会議での採択に向け、戦略計画 2030 の草案が提出される。

— EUIPO のニュースリリース等は、以下参照 —

(ニュースリリース)

[EUIPO launches open consultation on Strategic Plan 2030 emphasising innovation and growth](#)

(意見募集のページ)

[Open consultation on the Strategic Plan 2030](#)

(以上)